

車椅子対応エレベーター付パッセンジャーステップ車を導入

2019年12月24日

株式会社フジドリームエアラインズ(略称:FDA、本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:三輪 徳泰)は、日本初※となる『車椅子対応エレベーター付パッセンジャーステップ車』を株式会社MHIエアロスペースプロダクション(略称:MAP、本社:愛知県名古屋市、取締役社長:天野 彰二)と共同開発し、12月24日(火)より名古屋空港(小牧)にて運用を開始いたします。

『パッセンジャーステップ車』とは、航空機に搭乗・降機する際に使用する階段(ステップ)がついた専用車両で、名古屋空港(小牧)など、搭乗橋(ボーディングブリッジ)の無い駐機場で使用されています。この『パッセンジャーステップ車』に、車椅子のお客さまでも安心してご利用いただけるようエレベーター機能を付加して、バリアフリー化したものが、『車椅子対応エレベーター付パッセンジャーステップ車』で、日本国内では初めての※導入となります。※2019年12月現在、FDA および MAP による調査において。

これまで搭乗橋の無い駐機場で車椅子のお客さまが航空機に搭乗する際、ステップ車に備え付けられた昇降用リフトを利用するケースが主流でしたが、新車両では空港地上係員の操作・誘導のもと、車椅子のお客さまがエレベーターにより搭乗ドアの高さまで上昇でき、風雨を防ぎながらご搭乗いただくことができます。

FDA はこれからも地域と地域を結ぶ航空会社として利便性を高め、お客さまに優しいバリアフリー化を推進し、さらなるサービス向上に努めてまいります。



【車椅子対応エレベーター付パッセンジャーステップ車 概要】

- ・ 主要諸元
 - 全長：9237mm
 - 全幅：3703mm
 - 全高：5300mm
 - 重量：10,020kg (約10トン)
- ・ 駆動部仕様
 - 動力用モーター出力 ⇒ 3.7kw
 - エレベーター仕様 ⇒ ラックピニオン式
 - エレベーター耐荷重 ⇒ 270kg (85kg×3名 or 85kg×2名+車椅子1名)

以上